



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 東洋テック株式会社

コード番号 9686 URL <http://www.tovo-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 卓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長

(氏名) 仁田 吉彦

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 06-6563-2111

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,381	3.2	347	97.0	440	70.3	246	40.9
25年3月期第2四半期	9,090	1.4	176	23.5	258	△1.6	174	20.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 472百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	23.45	—
25年3月期第2四半期	16.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	22,163	18,286	82.5	1,741.65
25年3月期	21,518	17,893	83.2	1,704.19

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 18,286百万円 25年3月期 17,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	3.4	650	32.1	800	28.4	410	22.8	39.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	11,440,000 株	25年3月期	11,440,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	940,607 株	25年3月期	940,577 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	10,499,418 株	25年3月期2Q	10,499,533 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	13
販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所謂アベノミクスへの期待感と円安や株式市況の回復などを背景に、企業の収益が回復基調にあり、景気回復が徐々に実感されつつある状況の中で推移しました。

当警備業界におきましては、警備サービスに対するニーズは底堅いものはあるものの、同業他社との受注競争の激化や警備品質の向上のためのコストアップ要因等を抱え、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループはこれまで以上に地域社会の安全と安心に貢献していくことを目指し、引続きサービス、品質の向上に努め、同時にローコスト・オペレーションを追求することで生産性の向上を実現し、業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

また、当期間においては、当社が事業所等に設置した監視カメラで不審者が侵入した際の画像を警察本部のメール110番システムで提供することにより、捜査の迅速性や顧客の被害低下につながる取り組みを行いました。更に、当社グループの研修機関であるTECアカデミーでは実技、技能面での研修強化を目的として「TECアカデミー平野研修所」の開設準備を進め、警備品質の向上にも具体的に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次のとおり増収、増益となりました。

売上高は、コールセンター業務などの複合業務を絡めたビル管理業務が大幅な増収となったことにより、9,381百万円、前年同四半期比290百万円、3.2%の増収となりました。利益面では、高付加価値商品、サービスの販売に注力し、業務全般にわたる効率化やローコスト・オペレーションを徹底したことにより、営業利益は347百万円となり、前年同四半期比171百万円、97.0%の増益となりました。経常利益は440百万円、前年同四半期比181百万円、70.3%の増益となり、四半期純利益は246百万円、前年同四半期比71百万円、40.9%の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業につきましては、受託管理業務が減収となりましたが、輸送警備、機器販売は堅調に推移しました。また、ビル管理事業との複合業務において警備事業部分も増収となりました。

その結果、警備事業の当第2四半期連結累計期間の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、6,973百万円、前年同四半期比134百万円、2.0%の増収、セグメント利益（営業利益）は269百万円、前年同四半期比139百万円、107.7%の増益となりました。

(ビル管理事業)

ビル管理事業につきましては、コールセンターの機能を核としたビル管理業務と各警備業務を一体運営するスキームを構築し、提案型の営業を強力に推進いたしました。

その結果、ビル管理事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,408百万円、前年同四半期比156百万円、7.0%の増収となり、セグメント利益は64百万円、前年同四半期比27百万円、73.0%の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、22,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ645百万円増加しました。

流動資産は、12,132百万円となり、前連結会計年度末に比べ473百万円増加しました。

その主な要因は、受託管理業務に係る受託現預金が111百万円、受取手形及び売掛金が64百万円、有価証券が106百万円それぞれ減少しましたが、一方で現金及び預金が559百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、10,030百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円増加しました。

その主な要因は、投資有価証券が評価益の増加等により315百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

負債は、3,877百万円となり、前連結会計年度末に比べ252百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は、18,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ393百万円増加しました。

反面、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.7ポイント低下の82.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ516百万円増加し、6,936百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は826百万円であります。

その主な内容は税金等調整前四半期純利益428百万円、減価償却費365百万円、受託管理業務に係る当社資金の受託現預金及び立替金の減少100百万円等であります。

前第2四半期連結累計期間は780百万円の資金収入でありましたので、前年同四半期に比べ資金収入は45百万円増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は187百万円であります。

その主な内容は、有形固定資産の取得による支出269百万円や投資有価証券の取得による支出208百万円等がありましたが、一方で、投資有価証券償還による収入300百万円等があったことによるものです。

前第2四半期連結累計期間は563百万円の資金支出でありましたので、前年同四半期に比べ376百万円資金支出の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は122百万円であります。

その主な内容は、配当金の支払による104百万円の資金支出や長期借入金の返済による支出43百万円等があったことによるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成 26 年 3 月期の業績予想につきましては、厳しい市場環境が続いており警備業務全般では伸び悩んでおりますが、一方でコールセンター業務などの複合業務を絡めたビル管理業務が好調なこともあり、平成 25 年 5 月 10 日に公表した連結業績予想からの修正は行っておりません。

(連結業績予想)

売 上 高	19,000 百万円	(前期比	3.4%)
営 業 利 益	650 百万円	(前期比	32.1%)
経 常 利 益	800 百万円	(前期比	28.4%)
当 期 純 利 益	410 百万円	(前期比	22.8%)

2. サマリー情報(その他)に関する事項**(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,817,528	5,377,311
受託現預金	2,544,273	2,433,182
受取手形及び売掛金	1,386,561	1,322,128
有価証券	2,220,072	2,113,688
商品	2,571	2,527
貯蔵品	317,795	315,558
立替金	642	—
繰延税金資産	213,106	222,724
その他	161,874	348,802
貸倒引当金	△4,920	△3,141
流動資産合計	11,659,505	12,132,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	543,006	546,931
機械装置及び運搬具(純額)	1,953,669	1,909,244
土地	1,743,954	1,743,954
建設仮勘定	25,482	17,318
その他(純額)	117,781	131,507
有形固定資産合計	4,383,894	4,348,955
無形固定資産		
ソフトウェア	222,084	174,041
のれん	403,291	355,371
その他	68,083	68,083
無形固定資産合計	693,458	597,496
投資その他の資産		
投資有価証券	3,753,821	4,069,811
投資不動産(純額)	606,032	596,050
繰延税金資産	98,982	88,282
その他	332,910	343,301
貸倒引当金	△10,412	△12,998
投資その他の資産合計	4,781,334	5,084,447
固定資産合計	9,858,688	10,030,899
資産合計	21,518,193	22,163,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	282,874	234,565
1年内返済予定の長期借入金	32,500	30,000
未払法人税等	152,744	187,400
預り金	155,139	136,342
賞与引当金	378,328	395,611
役員賞与引当金	40,638	15,860
その他	1,249,380	1,493,825
流動負債合計	2,291,606	2,493,604
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	192,370	151,380
繰延税金負債	430,784	531,153
退職給付引当金	285,751	288,617
その他	224,646	212,632
固定負債合計	1,333,552	1,383,782
負債合計	3,625,159	3,877,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,618,000	4,618,000
資本剰余金	8,310,580	8,310,580
利益剰余金	6,454,681	6,595,981
自己株式	△683,660	△657,651
株主資本合計	18,699,601	18,866,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	945,842	1,171,793
土地再評価差額金	△1,752,409	△1,752,409
その他の包括利益累計額合計	△806,566	△580,615
純資産合計	17,893,034	18,286,294
負債純資産合計	21,518,193	22,163,681

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,090,730	9,381,382
売上原価	7,293,519	7,406,100
売上総利益	1,797,211	1,975,281
販売費及び一般管理費	1,620,706	1,627,587
営業利益	176,504	347,693
営業外収益		
受取利息	5,905	4,727
受取配当金	53,776	52,549
不動産賃貸料	780	18,180
違約金収入	12,417	20,053
その他	17,312	14,586
営業外収益合計	90,192	110,097
営業外費用		
支払利息	3,585	2,011
不動産賃貸費用	—	10,650
事務所移転費用	411	—
保険免責額	1,668	2,153
その他	2,424	2,548
営業外費用合計	8,089	17,364
経常利益	258,607	440,426
特別利益		
投資有価証券売却益	40,885	17,330
特別利益合計	40,885	17,330
特別損失		
投資有価証券評価損	8,852	—
固定資産除却損	30,136	29,609
特別損失合計	38,989	29,609
税金等調整前四半期純利益	260,503	428,147
法人税、住民税及び事業税	130,670	184,026
法人税等調整額	△45,024	△2,173
法人税等合計	85,646	181,853
少数株主損益調整前四半期純利益	174,857	246,293
四半期純利益	174,857	246,293

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	174,857	246,293
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△213,622	225,951
その他の包括利益合計	△213,622	225,951
四半期包括利益	△38,764	472,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△38,764	472,245
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	260,503	428,147
減価償却費	411,436	365,079
のれん償却額	46,106	47,784
固定資産除却損	30,136	29,609
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,838	807
退職給付引当金の増減額(△は減少)／前払年金 費用の増減額(△は増加)	43,734	2,865
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,175	17,282
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,290	△24,778
受取利息及び受取配当金	△59,682	△57,277
支払利息	3,585	2,011
投資有価証券売却損益(△は益)	△40,885	△17,330
投資有価証券評価損益(△は益)	8,852	—
売上債権の増減額(△は増加)	250,497	64,433
たな卸資産の増減額(△は増加)	27,869	2,280
その他債権の増減額(△は増加)	△25,313	△200,908
仕入債務の増減額(△は減少)	△120,926	△48,308
受託現預金の増減額(△は増加)	100,775	99,358
受託立替金の増減額(△は増加)	△775	642
その他	△7,197	195,308
小計	893,411	907,006
利息及び配当金の受取額	60,963	59,818
利息の支払額	△3,505	△2,182
法人税等の支払額	△173,925	△149,371
法人税等の還付額	3,885	11,012
営業活動によるキャッシュ・フロー	780,830	826,283
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△0	△35,000
有形固定資産の取得による支出	△410,225	△269,746
無形固定資産の取得による支出	△23,658	△9,942
投資有価証券の取得による支出	△53,813	△208,154
投資有価証券の売却による収入	62,988	34,909
投資有価証券の償還による収入	—	300,000
事業譲受による支出	△135,433	—
その他	△3,043	898
投資活動によるキャッシュ・フロー	△563,186	△187,036

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	13,000	—
短期借入金の返済による支出	△13,000	—
長期借入れによる収入	150,000	—
長期借入金の返済による支出	△35,590	△43,490
自己株式の取得による支出	△29	△31
自己株式の売却による収入	22,874	26,040
配当金の支払額	△104,995	△104,994
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,259	△122,475
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	249,903	516,772
現金及び現金同等物の期首残高	6,341,673	6,419,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,591,576	6,936,160

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	警備事業	ビル管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,839,014	2,251,715	9,090,730	—	9,090,730
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,586	161,288	169,874	△169,874	—
計	6,847,601	2,413,003	9,260,605	△169,874	9,090,730
セグメント利益	129,644	37,287	166,932	9,572	176,504

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。
 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。
 これによる警備事業、ビル管理事業のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「警備事業」セグメントにおいて、平成24年4月1日付でバンガード株が同社の機械警備事業を会社分割し、当社の連結子会社である東洋テック姫路株がその事業を承継しました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては135,433千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	警備事業	ビル管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,973,058	2,408,323	9,381,382	—	9,381,382
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,786	268,367	283,153	△283,153	—
計	6,987,845	2,676,690	9,664,536	△283,153	9,381,382
セグメント利益	269,216	64,499	333,716	13,977	347,693

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

販売実績

当第2四半期連結累計期間における業務別の販売実績は、次のとおりであります。

(単位：千円、%)

業務別の名称	販売高	前年同四半期比	前年同四半期比
機 械 警 備	3,747,900	△380	△0.0
輸 送 警 備	619,111	14,786	2.4
施 設 警 備	840,016	△9,154	△1.1
受 託 管 理	851,910	△50,366	△5.6
工事・機器販売	408,313	8,160	2.0
警備事業計	6,467,253	△36,953	△0.6
ビル総合管理	2,914,129	327,605	12.7
合 計	9,381,382	290,651	3.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。